

自立活動だより

紀北支援学校自立活動部
平成30年9月発行

9月号の自立活動だよりは、小学部の自立活動の取組みについて紹介します。

8月6日～8日に自立活動に関する教材展示会を校内で行いました。今回は、この展示会に出品されていた先生たちのアイデアつまった教材の中から、教材を通してどのような取組みが行われているか、1ブロック低学年、2ブロック低・高学年の事例を紹介します。

【1ブロックの取組み】

1ブロック低学年の「時間における指導」は週3時間2限目に設定しています。授業形態は、実態や目標に応じて個別または小集団で行い、活動内容も様々です。今回は個別指導の事例を紹介します。

ねらい：『環境の把握』 (4)認知と行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること

【事例1】

Aさんは、目と手の協応動作を高めるために入口弁別課題に取り組んでいます。教材は手の巧緻性の段階に合わせて、穴の大きさや形を変えています。取組み中は「○個で終わり」など言葉かけして、見通しがもちやすいようにしています。

取組み成果

4月当初は、市販のボールを入れる知育玩具を使って、大きめのボールを入れることから始めましたが、徐々にボールを小さくしてもできるようになりました。長方形の積木も穴に合わせて向きを考えて入れようとすることもできてきました。

使用教材

一番左の穴は四角い積木、真ん中は丸いビー玉、右は平べったいおはじきを入れます。穴の形をよく見て何をどう入れるか見分ける教材です。



その他の入口弁別課題の手作り教材

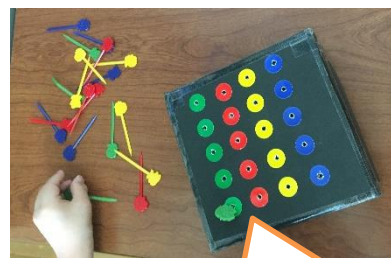


上の穴はビー玉、下はコインを入れる

横方向の長方形の穴に向きを合わせて入れる



★他にもこんな教材で取り組んでいます。



緑・赤・黄色・青の色シールのと
ころに同じ色の楊枝をさす教材



「のむ」「すわる」等の動作語にあ
う動作絵カードを左から選ぶ教材

こんなツ
ールもあ
るよ



今日の自立活動は何をする
か、課題を自分で選んで順
番に貼っているよ！

【2ブロックの取組み】

2ブロックの「時間における指導」は毎日2限目に設定しています。今回は、たくさんの事例の中から身体面、認知面の向上に向けた取組みを2例紹介します。

ねらい：『身体の動き』(1)姿勢・動作の基本的技能に関すること

【事例2】

Bさんは低緊張ですが、座位から立ち上がり、歩き出すことができます。数歩歩いて座り込むこともあれば、数メートル歩き続けることもできます。当初、階段は上れませんでした。

*取組み成果

階段を3段目まで手すりを持って上がり、4段目は四つん這いで上り、すべり台をすべることができるようになりました。階段の昇降がメインで、すべり台はお楽しみでしたが、そのうちに、下からすべり台の上を歩いて上り始め、足腰も鍛えられ思わぬ成果がでています。



教室の壁側に階段とすべり台を常にセットして置いています



こっちから上るのが
おもしろいなあ・・・



ねらい：『環境の把握』 (4)認知と行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること

【事例3】

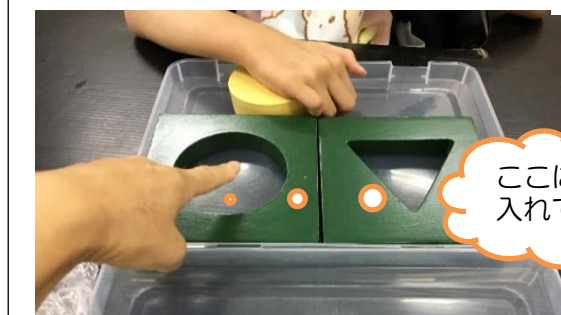
Cさんは、視知覚を高めるために「見分ける、見比べる」の課題に取り組んでいます。入口弁別課題では、穴があいている方を見分けてボールを入れ、型はめでは、○△を弁別したり、先生の指さしや「まるはどれ」「ここに入れて」の言葉を聞いてはめたりしています。

*取組み成果

見分ける力は対人関係につながるとも言われます。Cさんも人を見分ける力がついてきました。また、教材を介して先生とやりとりをする力の向上にもつながっています。



穴があいているのはこっちの缶ね



ここに
入れてね

